



くぎかいだより

NO. 218
発行/北区議会
〒114-8508
東京都北区王子本町1丁目15番22号
TEL(3908)1111(大代表)



平成20年 第2回定例会

各会派の代表質問

平成20年第2回定例会は、6月17日に招集され、11日間の会期で6月27日に閉会しました。6月17日、18日の2日間にわたり、11名の議員が、財政・福祉・教育・都市問題など当面する区政の課題について代表・一般質問を行いました。2頁〜4頁は、その質問と答弁の要旨を多数会派順に掲載しています。

今回、区長から提出された議案13件、議員から提出された議案4件、陳情5件を議決しました。(5頁掲載)

議会のうごき

4月

21日

地域開発特別委員会

○視察

- ・日本化薬株式会社研究所跡地及び旧志茂小学校跡地

○委員会

・視察のまとめ

24日

議会運営委員会

○委員会

・委員会構成についてほか

5月

8日

都区制度等調査特別委員会

○委員会

- ・都区のあり方検討委員会・幹事会についてほか

19日

議会運営委員会

○委員会

・交渉委員会についてほか

23日

議会運営委員会

○委員会

・本会議の運営についてほか

26日

本会議

○議案の付託

○正副議長選挙

- 常任・議会運営委員会委員の選任及び特別委員会委員の一部選任ほか
- 区民生活委員会(本会議休憩中)
- 委員会
- ・所管事務調査

地方自治法第179条第1項の規定に基づき処分した東京都北区特別区税条例の一部を改正する条例の報告及び承認についてほか

基本計画05の実績と総括を問う 中学校改築と地域との課題を問う

自由民主党議員団

山崎 満



問 北区が掲げる進むべき方針「基本計画」で、区側は議会との協働の意味合い・役割位置付けをどのように捉えているのか問う。

答 議会と区長が牽制と均衡により、公正な行政を確保することで区民の要望が区政に反映され、区民のための区政を推進できると考える。

問 ファミリー世帯の転出が少子高齢化に拍車をかけている。区の方



王子小学校・王子桜中学校完成予想図

策「子ども」かがやき戦略は時代を見据えた戦略だが、その成果は

問 「子育てするなら北区が一番」「教育先進都市・北区」を目指し、子育て世代から選ばれる北区づくりに取組み、高い評価を得ている。

答 区内初の小中合築校、王小・王子桜中は今までと違ったかたちの学校だが対応の準備は、又、地域をどのように巻き込んでいくのか。

問 児童生徒が安心して学校生活を過ごすことを第一に、地域コミュニティの活動拠点として地域に支

えてもらえる学校運営に努める。

問 十条富士見中の校舎改築と同時にグレードの高い体育館新築を。

答 生涯学習・スポーツの拠点となるよう中学校と地域利用施設が両立した特色ある学校づくりを検討

問 後期高齢者医療制度は分りにくく、政府の説明不足と指摘するが窓口になっている区はどう区民に理解を求め、説明をするのか。

答 あらゆる場で制度の説明をできると共に説明パンフレット等ではできない限り分かりやすい表現に努める。

問 災害時要援護者情報の共有は極めて重要であるが、十分な配慮と慎重な対応が必要。区民の理解と協力を得るよう努めながら、名簿と支援計画づくりを進める。

答 環境の向上と観光資源の視点から、区の単独試行もしくは都との共同事業として、都電沿線の軌道敷緑化を図ることを検討したい。

問 現在の沿線植栽を都電敷地内に立入り管理している特性を活かし、都の芝生による軌道敷緑化の実験に参加できないか提案していく。

都電と沿線の緑化に伴う植栽



都電と沿線の緑化に伴う植栽

をまとめた。区民満足度調査も含めた施設運営の総合評価は全施設において適正以上の評価であった。

問 区民が安心して区内で医療を受けられる体制作りを取組むべき。

答 印刷局東京病院について要望書を提出。北社会保険病院も適切に対応したい。医療機能の存続に関する検討会も設置。全力で取組む。

問 政府は個人情報保護に関する基本方針を改正した。災害時要援護者の避難支援計画や名簿作成が促進されると理解。区の見解は。

答 モニタリング・評価制度を構築し、現地調査、指導を行い、結果

指定管理者の導入に対する北区の基本姿勢について区長に問う。

問 指定管理者の導入に対する北区の基本姿勢について区長に問う。

答 北区指定管理者制度ガイドラインに基づき、サービス向上とコスト削減の両面から検討し、効果が見込まれる場合に導入を決定する。

問 指定管理者制度を導入した施設の評価と、利用者の声を問う。

答 モニタリング・評価制度を構築し、現地調査、指導を行い、結果

指定管理者制度の導入について

北区医療体制の確保について

公明党議員団

大島 実



後期高齢者医療制度は廃止に

よりよい医療、介護、雇用対策を

日本共産党北区議員団

野々山 研



問 北社会保険病院について、施設の譲渡・廃止を任務とする整理機構への出資に反対し、国の責任で病院を保有できるように国に求めよ。

答 今後も政府の動向を十分注視し、区議会等とも相談しながら病院の医療機能の確保に向けて全力を挙げて取り組んでいく。適切な時期に適切な対応を図っていききたい。

問 3年間で84億円の給付費を余ら



赤羽しごとコーナー

せた異常な介護保険運営を、第四期事業計画ではどう改善するのか。

答 第四期計画では適切な給付費の算定を行うとともに、高齢者の状況を十分踏まえた計画を策定し、信頼される事業運営に努める。

問 赤羽しごとコーナーに、若者・女性就労支援のため「ポケット労働法」を常備するよう求める。

答 指摘のポケット労働法については配置に向けて手配をしている。

問 指定管理者制度による経費削減サービス向上との謳い文句は絵空

事。計画を抜本的に再検討すべき。

答 今後も施設の設置目的に照らし、より良いサービス提供をより効果的に行うべく、必要に応じ指定管理者制度の活用を図っていききたい。

問 被爆者の願いに応え、被爆者認定基準を原爆被害の実態に即したものに抜本的に改定し、集団訴訟の全面解決を国に強く求めるべき。

答 原爆症の認定は国の責任において対応していくべきものと考えており、今後必要な場面には、議会に相談し、区として対応していく。

後期高齢者医療制度は廃止すべき

区民に即し介護保険計画の改定を

民主区民クラブ

平田 雅夫



問 要介護認定について若干の改善は図られたが、北区は厳しいとの声が跡を絶たない。改善を求める。

答 区民の意見や要望を真摯に受け止め、介護現場の実態を踏まえたきめ細かな認定への改善に努める。

問 介護福祉労働者に低賃金構造が定着し人材確保のための介護報酬引上げが急がれている。区長会の動きを含め区長の所見を問う。

答 人手不足等は深刻な状況にあると認識し、全国市長会や特別区長会において国に要望することとした。今後とも、区として介護報酬改定に向けた動向に注視していく。

問 区立小中学校と区役所本庁舎の耐震化の現状と今後の対応を問う。

答 中学校は本年度で耐震補強工事を全て終了し、小学校は現在5校が未実施で23年度に前倒し実施する予定。耐震性能が不足している庁舎の今後のあり方について、耐震補強、建替え等検討していく。



飛鳥晴山苑

問 他市で事務事業の外部化に関し係争や問題が提起されている。指定管理者制度導入の中間的総括を。

答 98施設に導入し区民サービスの向上と一定の経費削減が図られている。今後も定期的継続的な評価を行い適切な運営の確保に努める。

問 小中学校の余教教室を更に精査・集約し、施設の有効活用を。

答 教育委員会としても有効活用の観点から精査と集約が必要と考える。現在進めている学校改築の中で地域開放エリアの整備に努める。

教育未来館の機能的な体制づくり

発達障害児の支援について

あすか新生議員団

安田 勝彦



問 教育の未来を志向する拠点として教育未来館を機能的に動かすため、所管がばらばらの専門組織と人材を集約して体制を整えるべき。

答 今後、他区の事例を参考にしながら、これからの教育未来館のあり方を具体的に検討していく。

問 教育未来館の仕事として、利用しやすい学習情報の提供、教育の基礎資料や教育研究成果の収集と



旧校舍利用の教育未来館

データベース化が必要と考える。

答 データベース化はシンクタンク機能を持つ教育未来館の大切な役割の一つと考え検討を進めていく。

問 所管ごとにばらばらに実施している発達障害児の支援を集約して機能的に支援できる体制にすべき。

答 これまでの各所管の取組みには連携が十分でない部分もあり、相談しやすい体制づくり、効果的に支援ができる体制が必要と考える。

問 就学前の発達障害児支援は学校と異なり一本化されていない。特

別支援教育のような支援のしやすいシステムを作るべきと考える。

答 症状発現後できるだけ早期に発達支援を行うことが重要で、総合的な対応が可能となるような支援システムのあり方を検討していく。

問 幼稚園と保育園の共通化に向け具体化できるような計画立案を期待し、今後のスケジュールを問う。

答 昨年12月に基本的なあり方を検討する委員会を設置した。今年9月に予定する報告を踏まえ、就学前教育保育の充実に努めていく。

28日	企画総務委員会（本会議休憩中） ○委員会 ・議案審査 地方自治法第179条第1項の規定に基づき処分した東京都北区特別区税条例の一部を改正する条例の報告及び承認についてほか 議会運営委員会（本会議休憩中） ○委員会 ・本会議の運営について
6日	議会運営委員会 ○委員会 ・東京都北区議会確認事項についてほか
17日	本会議 ○代表質問ほか 本会議の運営についてほか
18日	本会議 ○一般質問、議案の付託ほか
20日	健康福祉委員会 ○委員会 ・事務事業の概要と現況説明 ・議案審査 東京都北区立西ヶ原東保育園の指定管理者の指定についてほか ・所管事務調査 平成20年度東京都北区一般会計補正予算（第1号） 請願・陳情審査 福祉人材の確保にむけた施策の充実を求める意見書提出に関する件ほか

一般質問

北区のまちづくり政策について



自由民主党 議員団 榑 くにじ

問 少子高齢社会を迎える中、高齢者住宅政策についてどう考えるか

答 シルバーピアの管理や転居費用助成、親元近居助成等展開しているが見直しも必要。住宅対策審議会を設置し十分に検討していく。

コミュニティバス活用策について



自由民主党 議員団 戸枝 大幸

問 区の財政負担を軽くするため、コミュニティバス利用促進を積極的に、あらゆる媒体で可能な限りPRする努力が必要である。

答 チラシ配布等でPRし、沿線施設の入館割引等の連携も進め、今後ともバスの利用促進に努める。

北区の防犯対策について



公明党議員団 上川 晃

問 防犯対策の拡充を目指し策定された「北区生活安全推進プラン」の具体的な進め方について問う。

答 社会情勢の変化等を踏まえ、柔軟かつ適切に見直しを行う。個別の事業計画は毎年度更新し、数値目標等は事業検証の中で検討する。

環境問題について



公明党議員団 近藤 光則

問 環境問題に対し、区民一人ひとりの意識の向上を図るため「環境家計簿」作成の取組みを提案する。

答 提案の環境家計簿等の手法を取入れ、家庭生活に温暖化対策を取入れるきっかけづくりに取組む。

問 指定管理を行っている保育園とのサービスマスターの違いを解消するため、区直営の保育園でも、積極的にサービスマスターを向上させる体制を。

答 区直営の保育園についても指定管理者園との切磋琢磨の中で、更にサービスマスターの充実に努めていく。

問 高齢者住宅施策に、万が一の場合でも区が責任を持って対応する所管を超えたサポートシステムを。

答 現在の高齢者の居住を支援する仕組みを十分活用し家主が安心して住宅供給できるよう努めていく。

問 赤羽駅周辺の駐輪対策には、駅南側のJRが持っている空き地を駐輪場にするにも必要と考える。

答 民間駐輪場の利用状況や、放置自転車の状況を勘案し、当該用地の利用方法をJRと協議していく。

問 民間駐輪場の利用状況や、放置自転車の状況を勘案し、当該用地の利用方法をJRと協議していく。

答 積立が直ちに担税力低下に繋がるものではない。戸建所有者との公平性を考慮する必要もある。

問 高齢社会に向けた「HTLV-1ゲージ」の拡大・普及による分譲マンションへの適用について問う。

答 担保は土地が基本だが、分譲マンションについては、他の自治体の取組みを十分研究していきたい。



公明党議員団 宮島 修

問 HTLV-1の母子感染防止のため妊婦健診時の抗体検査導入と区独自の検査費用助成を要望する。

答 区民への周知、相談体制も含め研究を重ねる。健診時の検査導入区独自の費用助成も研究していく。

問 脳血管疾患は発症自体の予防が重要であり、区で独自のMRI・MRA特定検診助成を提案する。

答 MRI・MRA

問 提案の検診への助成は他自治体の動向を踏まえ、更に研究する。

答 電動車いすによる事故が急増している。安全運転に関する意識向上を図るべく、安全教室の開催を。高齢者対象の交通安全講習会等の中で、電動車いすの安全利用の説明を加えることを検討する。

問 ふれあい館は、利用時間の間の準備時間短縮や午後の時間を二枠に増やすことで利便性を向上し、地域住民のために区内区外の利用者で使用料に差をつけてはどうか。

答 時間枠等は利用者アンケートを実施して検討し、使用料の差は改定の検討と合わせ検討していく。

問 高度利用抑制への方向転換を住宅マスタープラン改定に際し

答 提案の検診への助成は他自治体の動向を踏まえ、更に研究する。

問 今の都市計画マスタープランは全体として高度利用を進める方向だが、抑制する方向に転換すべき。

答 高度利用やまちづくりの方向性等の課題は北区都市計画審議会の専門部会で議論されることになる。

問 まちづくりに協力する区民の生活維持や再建に十分な手当・対策を講じるため、国や都からの財源確保に更に尽力することを求める。

答 国や都の補助金を確保することにも、国に拡充を要望し、都に増額等の改善を求める。基金や起債の活用も重要な財源確保策である。

問 区民が支払い可能な範囲で、適切な規模や性能を持つ住宅を確保するため、賃貸住宅施策の拡充を。

答 新しい住宅マスタープラン策定のために今年度設置を予定する住宅対策審議会でも十分に検討する。

問 三世帯住宅建設助成等支援策を強化し、持ち家対策を充実すべき。

答 国の動きや社会経済状況から、区としては、住宅建設を積極的に支援する状況にはないと考える。



日本共産党 北区議員団 本田 正則

建設委員会
○委員会
・事務事業の概要と現況説明
・所管事務調査
東京都北区地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例ほか
・請願・陳情審査
西ヶ原一丁目地区の住宅建設に関する件

23日 区民生活委員会

○委員会

・事務事業の概要と現況説明
・所管事務調査
東京都北区路上喫煙の防止等に関する条例
・請願・陳情審査
ゴミ集積所での白色トレイと牛乳パックの回収を定める件

文教委員会

○委員会

・事務事業の概要と現況説明
・所管事務調査
平成20年度東京都北区一般会計補正予算(第1号)ほか
・請願・陳情審査
明桜中学校改築に関する件

24日

企画総務委員会

○委員会

・事務事業の概要と現況説明
・議案審査
東京都北区路上喫煙の防止等に関する条例ほか
・ブロックプラン
明桜中学校新築ブロックプラン(計画図)について

用語解説

※整理機構

独立行政法人年金・健康保険福祉施設整理機構。年金福祉施設等の譲渡又は廃止とそれまでの運営及び管理を行う。

※リバースモーゲージ

住宅等の不動産を担保にそこに住み続けながら生活資金等の融資を受け、所有者の死後に資産を売却して元金の返済に充てる制度。

※HTLV-1

成人T細胞性白血病等の病気の原因となるウイルス。
※MRI・MRA
磁気を利用して人体内部を画像化し、それを応用して血管を画像化した撮影法。

区長提出の議案

「条例」

○東京都北区路上喫煙の防止等に関する条例（賛成全員）
（道路等における喫煙の防止に関し必要な事項を定める）

○財産の交換、譲与、無償貸付等に関する条例の一部を改正する条例（賛成多数）
（地方自治法の一部改正に伴い、土地以外の行政財産の貸付け及び私権の設定に係る規定の整備を行う）

○災害に際し応急措置の業務等に従事した者に係る損害補償に関する条例の一部を改正する条例（賛成全員）
（非常勤消防団員等に係る損害補償の基準を定める政令の一部改正に伴い、配偶者以外の扶養親族についての補償基礎額の加算額を引き上げる）

○東京都北区地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例（賛成全員）
（上十条三・四丁目地区防災街区整備地区整備計画区域内の建築物の制限を規定する）

「契約」

○児童用机及び椅子の購入契約（賛成全員）

○王子小学校及び王子桜中学校新築工事に伴う厨房機器の購入契約（賛成全員）

○西浮間小学校新築工事に伴う厨房機器の購入契約（賛成全員）

○仮称志茂子ども交流館新築工事請負契約（賛成全員）

○桐ヶ丘中学校新築工事請負契約（賛成全員）

○赤羽中学校校舎及び体育館耐震補強工事請負契約（賛成全員）

「指定管理者の指定」

○東京都北区立西ヶ原東保育園の指定管理者の指定について（賛成多数）

○東京都北区立上十条南保育園の指定管理者の指定について（賛成多数）

「予算」

○平成20年度東京都北区一般会計補正予算（第1号）（賛成全員）
（生活安定応援事業費等）

議員提出の議案

○東京都後期高齢者医療広域連合議会議員補欠選挙における候補者の推薦について（池田博一議員）（賛成全員）

○福祉人材の確保に向けた施策の充実を求める意見書（賛成全員）

（要旨）地域の表情及び利用者への直接的な影響の抑制等に配慮しながら、福祉人材の確保に向けた施策の充実を図るよう求める。

（提出先）内閣総理大臣、厚生労働大臣、東京都知事

○食料自給率の向上を求める意見書（賛成全員）

（要旨）国民の豊かな食生活と健康を保障し、食料価格高騰に苦しむ発展途上国との共生をはかるためにも、足腰の強い、活力ある農業をめざし、食料自給率の向上を求める。

（提出先）内閣総理大臣、農林水産大臣

○保険による歯科医療の拡充に関する意見書（賛成全員）

（要旨）保険で良い歯科医療が行えるよう診療報酬の改善、拡充を行うよう強く求める。

（提出先）内閣総理大臣、厚生労働大臣

結果の出た陳情

採択されたもの

○保険でより良い歯科医療の実現を求める意見書提出に関する件 陳19・24

○福祉人材の確保にむけた施策の充実を求める意見書提出に関する件 陳20・7

▽意見書については、趣旨に沿うこと

○高齢者への健康奨励金ならびに介護保険制度内容見直しに関する件（第5項） 陳20・12

▽趣旨に沿うよう努力すること

▽は、採択された陳情に付された意見

不採択となったもの

○明桜中学校改築に関する件 陳20・8

○ゴミ集積所での白色トレイと牛乳パックの回収を求める件 陳20・9

○高齢者への健康奨励金ならびに介護保険制度内容見直しに関する件（第1、2、6項） 陳20・12

※理由は願意に沿い難いため

◎なお、その他の陳情は継続審査となりました。

開かれた議会を目指して

●議会を傍聴しませんか

北区議会では、本会議のほかに常任委員会・議会運営委員会・特別委員会も公開しています。

本会議を傍聴したい方は、区議会事務局（区役所第一庁舎4階）で傍聴券の交付を受けてから、傍聴席（6階）へお入りください。

受付は会議開会の当日に先着順で行います。【定員は70名です】

委員会を傍聴したい方は、委員会の開会時に先着順で受け付けますので、傍聴簿に必要事項を記入のうえ入室していただきます。【委員会室は区役所第一庁舎4階です。定員は第一委員会室が20名、第二委員会室が30名です】

●委員会記録と本会議の映像がホームページでご覧になれます。

本会議のほかに常任委員会・議会運営委員会・特別委員会の会議記録を公開しています。キーワードや発言した人で検索することも可能です。また、本会議代表質問等の録画映像も配信しています。

こちらも是非ご覧ください。

ホームページアドレス

<http://www.city.kita.tokyo.jp/>

「北区議会」からご覧になれますのでご利用ください

態度の分かれた案件

件名	議員数					議決結果
	自由民主党議員団※(12)	公明党議員団(10)	日本共産党北区議員団(9)	民主区民クラブ(7)	あすか新生議員団(4) <small>（名席欠）</small>	
財産の交換、譲与、無償貸付等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	×	○	○	可決
東京都北区立西ヶ原東保育園の指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	可決
東京都北区立上十条南保育園の指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	可決

※採決時は、議長（自由民主党議員団）を除きます。 ○賛成 ×反対 ▲退場

7月

1日 都区制度等調査特別委員会

○委員会

・「主要5課題」から都区あり方検討委員会・幹事会についてほか

2日 交通環境対策特別委員会

○委員会

・事務事業の概要と現況説明
・請願・陳情審査
南大橋をバリアフリーにするためのエレベーター設置に関する件

3日 地域開発特別委員会

○委員会

・事務事業の概要と現況説明

4日 防災対策特別委員会

○委員会

・事務事業の概要と現況説明

・請願・陳情審査
「鳥獣被害防止特措法」関連予算を、鳥獣捕殺ではなく自然林復元と被害防除に使うこと等を求める意見書提出に関する件ほか

26日 議会運営委員会

○委員会

・本会議の運営についてほか

27日 本会議

○議案の議決ほか

議会運営委員会

○委員会

・第3回定例会の日程についてほか

平成20年第1回臨時会を開会しました

平成20年第1回臨時会は、5月26日に招集されました。区長から提出された議案等2件を可決・承認し、正副議長選挙、常任委員会・議会運営委員会委員の選任、特別委員会委員の一部選任等を行いました。その他、区長より提案された議会選出の監査委員2名の選任にそれぞれ同意し、同日閉会しました。

なお、議会の構成については、6月30日発行の「きたぐきかいたより」第217号をご覧ください。

区長提出の議案等

「専決処分」
○地方自治法第179条第1項の規定に基づき処分した東京都北区特別区税条例の一部を改正する条例の報告及び承認について(賛成全員)

「人事」
○東京都北区監査委員選任の同意について(藤田隆一議員 賛成全員)
○東京都北区監査委員選任の同意について(鈴木隆司議員 賛成全員)

○東京都北区手数料条例の一部を改正する条例(賛成全員)

正する条例(賛成全員)
(戸籍法の一部改正に伴う規定の整備を行う)

態度の分かれた案件

議決結果	新社会党議員団(1)	北区・区民クラブ(1)	あすか新生議員団(4)	民主区民クラブ(7)	日本共産党北区議員団(9)	公明党議員団(10)	自由民主党議員団※(12)
東京都北区監査委員選任の同意について(藤田隆一議員)	○	○	○	○	▲	○	○
東京都北区監査委員選任の同意について(鈴木隆司議員)	○	○	○	○	○	○	○

※採決時は、議長(自由民主党議員団)を除きます。 ○賛成 ×反対 ▲退場

議席配置図

事務局長				議長席				副議長席							
速記者席				壇											
まちづくり部長	子ども家庭部長	子ども家庭部長	子ども家庭部長	北保健所長	北保健所長	北保健所長	北保健所長	職員課長	職員課長	職員課長	職員課長	総務係長	総務係長	総務係長	総務係長
区民部長	地域振興部長	教育改革担当部長	教育改革担当部長	教育委員会次長	教育委員会次長	教育委員会次長	教育委員会次長	副区長	副区長	副区長	副区長	区長	区長	区長	区長
野々山 研(共)	山崎たい子(共)			宮島 修(公)	近藤 光則(公)	土屋 敏(公)	大島 実(公)	永沼 正光(自)	渡辺 かつひろ(自)						
福島 宏紀(共)	相楽 淑子(共)	本田 正則(共)	木元 良八(共)	稲垣 浩(公)	青木 博子(公)	上川 晃(公)	横溝 加代子(公)	太田 奈保子(自)	山田 加奈子(自)	椿 くにじ(自)	戸枝 大幸(自)				
八巻 直人(共)	中川 大一(共)	八百川 孝(共)	福田 実(社)	榎本 はじめ(ク)	小関 和幸(公)	宇野 等(公)	花見 隆(民)	池田 博一(自)	樋口 万丈(自)	藤田 隆一(自)	小池 たくみ(自)				
石川 清(あ)	安田 勝彦(あ)	金子 章(あ)	山中 邦彦(あ)	佐藤 有恒(民)	大畑 修(民)	福田 伸樹(民)	平田 雅夫(民)	林 千春(民)	鈴木 隆司(民)	黒田 みち子(自)	山崎 満(自)				

氏名の上の番号は議席番号です。(平成20年5月26日指定)

お見舞い

北区議会からミャンマー、中国に災害救援金を贈りました

平成20年6月11日、北区議会はサイクロンによる被害を受けたミャンマーと、中国四川大地震で被害を受けた中国に救援金を贈りました。

北区議会から岩手、宮城に災害救援金を贈りました

区議会議員からの救援金総額は50万円で、ミャンマー・サイクロンへの救援金25万円を日本赤十字社救援金受付口座に振り込み、中国四川大地震救援金25万円は区議会事務局職員が中国大使館を訪れ、直接手渡しました。

平成20年7月7日、北区議会は岩手・宮城内陸地震による被害を受けた岩手県と宮城県に、義援金を贈りました。

区議会議員からの義援金総額は25万円で、日本赤十字社の岩手県支部及び宮城県支部の義援金受付口座に振り込みました。

次回定例会のお知らせ

平成20年第3回定例会は、9月12日から10月10日までの29日間の会期の予定で開かれます。いずれの会議も午前10時開会予定です。

9月12日(金)	本会議
16日(火)	(本会議)
18日(木)	健康福祉委員会
	建設委員会
19日(金)	区民生活委員会
	文教委員会
22日(月)	企画総務委員会
25日(木)	決算特別委員会
26日(金)	決算特別委員会
30日(火)	決算特別委員会
10月1日(水)	決算特別委員会
3日(金)	決算特別委員会
6日(月)	決算特別委員会
7日(火)	決算特別委員会
9日(木)	議会運営委員会
10日(金)	本会議

議会放映を北ケーブルテレビでご覧ください

第3回定例会本会議の代表質問の様子を北9チャンネルで録画放映します。

放映日時

9月21日(日)	午前10時～5時間程度
9月22日(月)～26日(金)	午後10時15分～1時間程度(再放送)

区議会たより編集委員会
〒114-8508 北区王子本町1-15-22
☎(3908)9949
FAX(3908)0600

区議会の活動は北区のホームページ
(http://www.city.kita-tokyo.jp)
「北区議会」からご覧いただけます。